



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数……………813人
 医師……………162人
 コメディカル……………651人
 【管理栄養士紹介登録数 45人】
 平成22年4月20日現在

《目次》

- ◆「子どもにもっと実体験をさせよう」
 武居 正郎先生……………Page 1
- ◆研究会の実施報告……………Page 2-3
- ◆研究会のお知らせ他……………Page 4

『子どもにもっと実体験をさせよう』

当会理事 武居小児科医院 武居 正郎

I型糖尿病の子どもを連れて毎年サマーキャンプをしています。子ども達に栄養指導をしても頭では理解していますが実際にその食事を作った事は少ないのです。インスリンを注射したのに、親の作った食事が嫌いだからと食べなかつたりして、親は低血糖になるのではとおろおろします。キャンプでは実際に10人位のグループを作りそのグループで栄養士の指導を受けながら献立を作り、それを実際に作る調理実習の日を企画しています。高学年の子どもが低学年の面倒を見ながら行います。また、折角のキャンプですので焚き火を起し飯盒でご飯を炊くのですが、子ども達の生活の面倒をみる大学生がその経験がないために出来ないのを教えます。サッカー、野球は出来ますが、木を切ること、野山を駆け巡る遊びは出来ませんし、その発想もないのです。風呂に入る時も大変です。タオルを持って洗い場に来ない子も居ます。その子に聞くと、家では一人で入り、ボディシャンプーをつけ手で擦り、シャワーで流しバスタオルで拭くだけとの事です。私のタオルで体を洗ってあげると、この様な事は初めてといます。私のタオルは茶色く染まってしまうました。インスリン注射は食事を食べる直前に消毒もせずズボンの上からすることや、小学一年生は自分で注射をすること等も覚え、多くの仲間を作りキャンプ終了時には泣いて別れていきます。

休日に6時間以上テレビ、ビデオを見たりゲームをしたりしている子どもたちが50%以上です。ゲームは脳の前頭葉を使わずに側頭葉の反射だけです。体操教室、プール教室、野球教室、サッカー教室など大人に管理された運動は有りますが、子どもが自主的に仲間と公園で遊ぶことが出来ない世の中です。誰と何をして遊ぶかは前頭葉を使います。仲間を作ることはコミュニケーションがうまく取れるかどうかの能力の開発になります。子どもを大人にするためにはその両方の発達が必要です。

病院での糖尿病教室でも、実際に食事を作りながら行う栄養指導やその人に合った運動の指導、そして、実際にしている家庭での生活に基づいた様々な指導をこれからの時代には必要でしょう。糖尿病を持った人はなりやすい遺伝子を持っています。それは子どもや孫にも受け継がれていきます。ぜひ自分だけでなく、子どもや孫も一緒に糖尿病にならないような生活に取り組むように治療者は実体験の指導をして欲しいと思っています。



研修会等の実施報告

第10回 西東京糖尿病療養指導士認定式

平成22年4月8日(木)立川市女性総合センターアイムにて実施されました



平成21年度は新たに113名が西東京糖尿病療養指導士として認定されました。ご出席頂いた合格者ひとりひとりに認定委員長 かの内科 菅野一男先生から認定証が手渡されました。

また、特別講演として当会理事長 貴田岡正史が座長を務め、総合新川橋病院 糖尿病代謝内科 調進一郎先生に演者をお務め頂き『糖尿病療養指導士の現状と今後に期待すること』というテーマでご講演いただきました。認定者の皆さんは決意も新たに熱心に耳を傾けておられました。認定者の皆さまの今後の医療現場でのさらなるご活躍を期待致します。



養成講座受講・認定合格者の声

私の勤務先は総合病院で、私は消化器科、呼吸器科、腎臓内科、産婦人科などの入院患者さんの服薬指導をしています。糖尿病療養指導士の資格を取ろうと考えたのは、日常業務で糖尿病用薬の指導をする機会が多いこと、これから薬剤師として仕事を続けていくにあたって罹患者が多い糖尿病について正確で体系的な知識を持っていたいと考えたためです。糖尿病教室担当の先輩薬剤師に相談して、CDE認定制度があることを教えてもらいました。

講習会では講師の先生方の熱心さに驚き、感激しました。疾患の知識だけでなく、どのような姿勢で指導していくべきかお話をうかがえたことはわたしにとって大変有意義なものでした。

試験勉強は問題集を購入して問題を解きながら、該当箇所をガイドブックで再確認するという方法で勉強しました。論文は患者さんが何を求めているかを考え、薬剤師の立場から指導できることを心がけて論述しました。

認定式はひとりひとりに認定証を手渡す心温まる式で、CDEの講義を受けさせていただいて本当によかったなあと再度感じました。先生方のユーモアあるお話を聞いて指導者はこうあるべきなのだな、と思いました。

これからも日々努力して、先輩方と共に自分ができることを始めていきたいと思います。お忙しい中CDE認定に関わってくださった多くの先生方とスタッフの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

武蔵野赤十字病院 薬剤部 相田由美子

平成21年度受講・試験合格状況

養成講座受講者数 153名

認定試験(昨年度受験できなかった受験者を含む)

実施日	2月14日	合格者数	113名
受験者数	144名	合格率	78.5%

認定者職種	人数	%
看護師・准看護師	38	34
管理栄養士・栄養士	32	28
薬剤師	30	27
臨床検査技師	0	0
その他	13	12
合計	113	100

研修会等の実施報告

第25回 東糖協多摩ブロック糖尿病教室

平成22年3月20日(土)に青梅市立総合病院において開催されました



平成22年3月20日(土)に青梅市立総合病院において『第25回東糖協多摩ブロック糖尿病教室』が開催されました。今回の当番世話人は青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 部長 関口芳弘先生がご担当されました。

一演題目は、柳田医院 院長 柳田和弘先生より「診療所からみた病院と診療所連携の現状」との演題でご講演頂きました。柳田医院での病診連携を中心に実例をあげての病診連携をわかりやすくご講演頂きました。

二演題目は、東京都立多摩総合医療センター 内科部長 辻野元祥先生より、「診療所と病院の連携強化は、患者さんにどのようなメリットがあるか？」との演題でご講演頂きました。現状の問題点と今後の課題を実例をまじえてわかりやすくご講演頂きました。その後質疑応答でも、患者様の普段抱えている不安や現状などの質問に先生方がお答え頂き、改めて健康に関する関心の高さをうかがえました。



第9回 TAMA生活習慣病フォーラム

平成22年4月10日(土)に府中市中央文化センターにて開催されました



当番世話人 調布東山病院 小川 聡子

平成22年4月10日(土)に府中市中央文化センター ひばりホールにて、第9回TAMA生活習慣病フォーラムが開催されました。テーマは「糖尿病と第6の合併症 歯周病」。

第I部症例発表では、歯周病を併発により血糖コントロールが悪化したがチーム医療により奏功した症例を提示。第II部では濱田先生より、歯科医の立場から歯周病の基礎的な話と糖尿病治療での医療連携における歯科医の役割が示されました。

第III部では、調先生より糖尿病専門医の視点から糖尿病と歯周病への取組が明快にご講演いただきました。今回はじめて歯科関連従事者の参加が実現し、フロアの参加者に、各講演に対し活発な討論が行われました。



研究会他のお知らせ

 直接事業
 間接事業
 その他

 西東京臨床糖尿病研究会平成22年度総会・第47回例会（※お申込は不要です。）

テーマ：「変革する糖尿病の治療」

開催日：平成22年6月5日（土）

総会 15:15～15:45（開場15:00）

例会 16:00～19:30

場 所：国分寺Lホール（JR中央線「国分寺駅」下車徒歩0分）

参加費：会員無料 非会員：1,000円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：<2群>申請中

※詳細は同封のパンフレットまたは当会ホームページをご覧ください

総会の出欠はがきを同封しておりますのでお手数ですがご返送ください。


 平成22年度 西東京糖尿病療養指導プログラム（※お申し込みが必要です。）

開催日：平成22年7月18日（日）

場 所：拓殖大学 八王子キャンパス

（JR中央線・京王線高尾駅下車バス5分または徒歩20分）

参加費：6,000円（昼食代含まず）

<教育看護系>第7回 西東京糖尿病教育看護研修会

<病態栄養系>第7回 西東京病態栄養研修会

<薬 剤 系>第7回 西東京薬剤研修会

後半は3領域合同プログラムを開催いたします。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：2単位申請中

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>申請中

参加受付：当会HPの参加申し込み頁よりお申込ください。

<http://www.nishitokyo-dm.net>

※詳細は同封のパンフレットまたは当会ホームページをご覧ください。

 糖尿病診療—最新の動向 [医師・医療スタッフ向け研修会]

第9回 東京会場（※お申込が必要です。）

期 日：平成22年5月16日（日）9:45～16:00

場 所：国立国際医療研究センター 研修棟5階 大会議室

（〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1）

参加費：1,000円

申込締め切り：5月13日（木）

申込方法：糖尿病ネットワークのホームページよりオンラインでお申込みができます。

<http://www.dm-net.co.jp/event/index.php>

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリントプラザ 402

TEL：042(322)7468 FAX：042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp
